

令和3年11月30日に長崎県東彼杵郡東彼杵町で

発生した突風について

～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

11月30日14時10分頃、長崎県東彼杵郡東彼杵町で発生し被害をもたらした突風の種別は竜巻の可能性が高いと判断しました。その強さは風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

11月30日14時10分頃、長崎県東彼杵郡東彼杵町で突風が発生し、ビニールハウスの倒壊や倒木などの被害がありました。

このため12月1日、長崎地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断しました。

（根拠）

- ・ 突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・ 被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・ ゴーという音が移動したという証言が複数得られた。
- ・ 突風はごく短い時間（1分程度）であったという証言が複数得られた。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

(根拠)

- ・複数個所でビニールハウスの鋼管が変形していた。
- ・樹木の幹折れ。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：長崎地方気象台 電話：095-811-4862